

山形新聞 Yamagata News Online | サイトマップ | 

**New** FileMaker Pro 11 **新バージョン FileMaker Pro 11**

新機能で生産性が向上   さらに開発が簡単に  グラフでレポート作成 

無料評価版 [さらに詳しく](#)

ホーム 住まい 就職 イベント お買い物 商品案内 広告案内 会社案内 新聞購読

>> 県内ニュース >> 国内外のニュース >> 連載企画 >> 動画

清河八郎

ニュース検索

県内ニュース

>> 山形新聞トップ >> 県内ニュース >> 社会

## 清河八郎を祭る神社、老朽化進む 庄内、屋根改修へ住民走る

2010年03月30日 17:41

庄内町清川の住民約60人が「清河神社屋根改修実行委員会」(松田広委員長)を設立し、地区内にある同神社の屋根を直すための募金集めに奔走している。清川出身の幕末の志士で浪士組の幹部だった清河八郎(1830～63)を祭る同神社は、1933(昭和8)年の創建で老朽化が激しく、雨漏りの被害が年々ひどくなっている。松田委員長は「地域の誇りである神社を次世代に引き継いでいきたい」と善意を募っている。



老朽化で雨漏りが深刻化している清河神社。地元住民が実行委員会をつくり、改修を計画している＝庄内町清川

明治維新の先駆けになったとされる清河は、江戸で学問と剣の塾を開くなど文武両道にたけていたことで知られ、同神社は地元や東京の有志によって創建された。地元の小学生がみこ舞を披露する例大祭(5月)をはじめ、住民にとってなじみのイベントが毎年開かれており、隣接する清河八郎記念館の斎藤清館長は「神社は地域にとって欠かせない存在」と語る。また、合格祈願などに訪れる人も少なくない。

しかし、管理運営に当たる氏子を構成していない上、宮司は同町の御諸皇子(ごしょのおうじ)神社の正木尚文宮司が兼務しているため常駐しておらず、「祈祷(きとう)料など維持管理に費やす資金がない」という。そのため、これまで建物を修復したことがなく、屋根の腐食による雨漏りが年々悪化。改修が急務となっていた。

同実行委員会は「地域の誇りを守ろう」と、昨年10月に設立された。計画では、工期はことし5月から約3カ月間を予定、屋根は瓦から銅板にふき替える。工費は1300万円を見込む。既に地区内の各世帯に協力をお願いし、約280世帯のほか、計画を知った全国各地のファン約80人も協力し、29日現在、約600万円が集まっている。

ただ、目標額には遠く、松田委員長は「清川では約9割の世帯に協力してもらったが、広く支援をお願いしたい」と語る。5000円以上の寄付者には、屋根の銅板(縦26センチ、横95センチ)の裏面に氏名、願いごとを書いてもらうことにしている。募金は少額でも受け付けている。問い合わせは同実行委員会0234(57)2104。